

KAMOMIーる KAWO首ーる

… TOPICS …

- * ベビーシッター割引券
- * イベント開催報告
- * かもみーる取材紀行(後編)
- * 保育園たより

~ NEWS Letter ~ 19号 2012.1

「ベビーシッター割引券」ご利用ください

本学職員が在宅保育サービス（または自宅と保育所間の送迎サービス）を利用する際に、料金の一部を助成する「（財）こども未来財団ベビーシッター育児支援事業制度」を活用して、仕事と育児の両立を支援するベビーシッター割引券発行事業を開始しました。

利用対象者

本学に在職する職員（非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る。）
原則職員の配偶者が就労している場合のほか、配偶者の病気入院その他の理由によりサービスを利用しなければ、就労することが困難な状況にある場合（**勤務時間帯における利用のみを対象**）

対象となる子の年齢

- ・ 0歳から小学校3年生までの乳幼児及び児童
- ・ 健全育成上の世話を必要とする小学校6年生までの児童

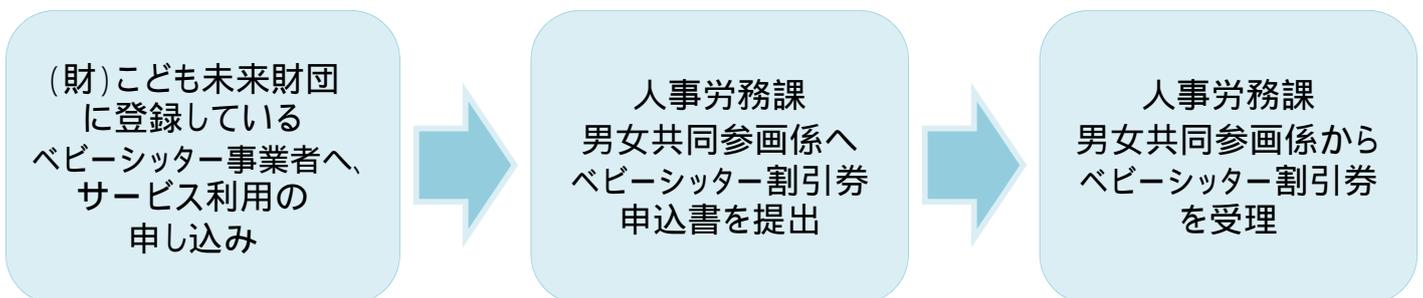
使用条件

- ・ 就労のための家庭内における保育（家庭以外は、利用不可）
 - ・ 家庭と保育所等との間の送迎
- [使用できない例]
施設間の送迎、集団保育、イベント保育、院内保育、利用者の家庭ではない場所（ベビーシッター宅等）での保育、キャンセル料、保険料

割引額等

- ・ 1日当たり1,700円（使用は1日に1枚（回）、1回につき1,700円以上のベビーシッター派遣料金が対象）
- ・ 割引券（育児クーポン券）の交付限度は、1家庭につき1か月24枚まで、1年間に280枚まで
- ・ ベビーシッター利用時に、利用料金から1,700円を差し引いた金額を、ベビーシッターの派遣事業者を支払う。
- ・ 利用できるのは、純然たる在宅保育サービス提供の対価のみ（交通費やキャンセル料は不可）

< 割引券の申込手続き >



「（財）こども未来財団」と「ベビーシッター育児支援事業」について、割引券取扱契約を締結している事業者が対象です。
割引券取扱契約を締結している事業者以外での利用については、適用されません。

(財)こども未来財団ホームページ「平成23年度「ベビーシッター育児支援事業のご案内」
<http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/babysitter/23bs.html>

*** 詳しくは、男女共同参画推進室HPをご覧ください。**



アロマテラピーレッスンを開催

12月20日、男女共同参画推進室・保健管理センター共催カモミールセミナー「アロマテラピーレッスン」を開催しました。本セミナーは女子学生、女性教職員のメンタルケアの一環として開催したものです。

セミナーでは、男女共同参画推進室が依頼している女性支援アドバイザーで、臨床心理士の磯村有希先生をお招きし、アロマテラピーについて、その効能や利用方法などの説明をしていただきました。その後、参加者は各自好きな香りの精油を選び、オリジナルブレンドのアロマキャンドルを作成しました。日頃の研究や仕事の疲れを癒し、リフレッシュする機会となりました。



▲講師の磯村有希氏



▲アロマキャンドル作成の様子



クリスマス交流会を開催

12月20日、カモミール・カフェにてクリスマス交流会を開催し、女子大学院生や研究員、教職員などが参加。

当日は、研究、進路、生活、出前講義…様々な話題で盛り上がり、学部を超えた交流の機会となりました。



ロールケーキ、シュトーレン、クッキー、ピザ、フルーツ…持ち寄ったたくさんのお菓子を囲んで、終始にぎやかな会となりました。



第9回 ぎふ女性経営者懇談会 開催

12月19日（月）岐阜大学全学共通教育棟多目的ホールにて、岐阜県・岐阜大学共催により、第9回ぎふ女性経営者懇談会が開催されました。テーマは、「女子学生等からみたビジネスの創出」。パネリストとして本学から、応用生物科学研究科1年の谷早織氏と工学研究科OGの水谷香織氏が登壇しました。

パネルディスカッション

【モデレーター】

古川 芳子氏(岡崎女子短期大学幼児教育学科 特任教授)

【パネリスト】

古賀 浩嗣氏(株式会社GUTS 代表取締役社長)

谷 早織氏(岐阜大学応用生物科学研究科1年)

中崎 彩氏(名古屋市立大学経済学部)

水谷 香織氏(パブリック・ハーツ株式会社 代表取締役社長)

岐阜大学工学研究科OG

パネルディスカッションでは、全てのパネリストから、起業して成功するために必要なのは、「お金・人脈・ノウハウ」。特に、ロールモデル(先輩、師)やメンターの存在は大きい。異業種交流会やイベントに参加するなど、行動を起こすことが大切、とアドバイスがありました。参加した女子学生たちも、熱心に耳を傾け、積極的に質問していました。



▲ディスカッションの様子



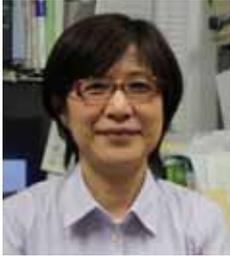
▲水谷 香織氏



▲谷 早織氏

かもみーる取材紀行 第5弾 岐阜薬科大学 永澤教授 インタビュー (後編)

18号に引き続き、岐阜薬科大学では唯一の女性教授、永澤秀子先生（創薬化学講座化学研究室）に岐阜薬科大学の現状やご自身のキャリアについて伺いました。



永澤秀子先生
岐阜薬科大学卒業後、
京都大学にて博士号
（薬学）取得。慶應義
塾大学、徳島大学など
を経て、現在は、岐阜
薬科大学教授。ご家族
は、ご主人、二人の娘
さん。単身赴任中。



所属学会について教えてください。

最近では、いろいろな学会で一時保育を行ったりしているようですが、薬学会には、女性の会員が多いにもかかわらず、まだ、そういったものはありません。

また、女性科学者の会は、最近年齢層が上がってきているような気がするので、今後の心配です。



▲インタビューの様子



20~30代では何が必要だと思いますか？

20~30代の女性研究者の多くが、自分の生活や研究でいっぱいだと思いますが、ネットワーク作りは重要。学会に参加し、ツイッターやフェイスブックなども利用して、女性研究者の輪を広げてほしいです。



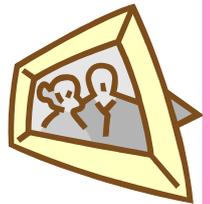
女性研究者が昇進するには何が一番必要だと思いますか？

お金をもらって研究をしているというプロ意識を持つために、ポストをもぎ取ってほしいです。そのためにも、やはり、業績を上げることが第一。論文発表やグラントを取ることが何より大切です。研究をストップさせることは、業績を上げる際に致命的です。そのためには、出産・育児のために、研究をストップさせないような支援や仕組みが必要ではないでしょうか。また、配偶者の理解も不可欠だと思います。



現在、単身赴任中ですか。

はい。主人の仕事と子どもたちの学校の関係で。家族と一緒にいる時は、どんなに忙しくても、ある程度の時間になると帰っていましたが、今は無限に働いてしまっていますね。もっと効率的にメリハリを付けて働くべきと反省しています。



現在、困っていることなどはありますか？

研究室の長として、研究室運営についてもっと学ばなければいけないと思っています。教授になるまでは、業績を上げることに一生懸命で、考えたことがありませんでした。これからは、コーチング力やコミュニケーション力をもっと磨き、人を育てて生かす技を身につけたいです。



▲研究室のみなさん



永澤先生、どうもありがとうございました。これから、大学間でも何か連携できるといいですね。よろしくお願いします。

教育学部 辻 泰秀教授&学生さんと園児たちとの交流



12月15日(木)学生さん手作りのパズルと、近郊の美術館に展示がある絵の絵はがきで作ったかるたを持ってきてくれました。園児たちは、お兄さんお姉さんに遊び方をやさしく教えてもらって、カラフルなパズルと、普段見る機会の少ない絵のかるたに熱中し、楽しい一時を過ごしました。

7月6日に作製した粘土器が完成し、園児たちにお披露目されました。個性あふれる器たち。「何を入れようかな～」みんな、嬉しそうでした。

クリスマス会 



岐阜大学男女共同参画推進室（人事労務課男女共同参画係） URL：<http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>



〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

* 男女共同参画に関するご意見・ご要望は男女共同参画推進室へお願いします。